

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【公開番号】特開 2018-70142 (P2018-70142A)

【公開日】平成 30 年 5 月 10 日 (2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2018-017

【出願番号】特願 2017-159997 (P2017-159997)

【国際特許分類】

B 6 4 C 3/22 (2006.01)

B 6 4 C 1/00 (2006.01)

【F I】

B 6 4 C 3/22

B 6 4 C 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 24 日 (2020.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のパネル (106) と、

第 2 のパネル (108) と、

前記第 1 のパネルと前記第 2 のパネルとの間に連結されたりブ (202) と、

前記リブ間で翼長方向に且つ前記第 1 のパネルに個別に連結された非一体型の補強材であって、前記補強材は前記第 1 のパネルから離間されており、前記補強材と前記第 1 のパネルとの間の前記連結はクリップによって形成された間接的な連結であり、当該クリップによって形成された間接的な連結が、軸荷重が前記補強材によって受容されるのを防ぎつつ、前記第 1 のパネルの圧縮安定性を高める、補強材を含む航空機翼 (104)、を備える装置。

【請求項 2】

前記第 1 のパネル (106) は複合材又は炭素繊維強化プラスチックを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記航空機翼 (104) は前記第 1 のパネル (106) 及び前記第 2 のパネル (108) 内に前記軸荷重を保持するように構成されている、請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記第 1 のパネル (106) 及び前記第 2 のパネル (108) に連結された本体ウェブの側面 (902) を更に含む、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 5】

前記本体ウェブの側面 (902) は複合材又は炭素繊維強化プラスチックを含む、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記本体ウェブの側面 (902) は航空機 (100) の胴体 (101) の側面に沿って延在することができる、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 7】

前記本体ウェブの側面 (902) が間に挟まって延在する台形固定具 (904、906

）を更に含み、前記台形固定具は前記航空機翼（１０４）の後桁（１１０２）に連結され、前記軸荷重は前記第１のパネル（１０６）及び前記第２のパネル（１０８）から前記後桁まで伝達可能となる、請求項４に記載の装置。

【請求項８】

前記第１のパネル（１０６）と前記本体ウェブの側面（９０２）を連結するスプライスプレートを含み、請求項４に記載の装置。

【請求項９】

各補強材の端部とリブ（２０２）とを連結するブラケットを含み、前記ブラケットは材料特性又は前記ブラケットの可撓性に基づいて、前記補強材の座屈を防ぐ、請求項１から８のいずれか一項に記載の装置。

【請求項１０】

前記補強材は第１の補強材で、前記リブ（２０２）に連結され、前記リブ（２０２）間で翼長方向に連結され、且つ前記第２のパネル（１０８）に連結された第２の補強材を含み、前記第２の補強材は前記第２のパネルの圧縮安定性を高める、請求項１から９のいずれか一項に記載の装置。

【請求項１１】

前記航空機翼（１０４）を含む航空機（１００）を飛行させること、  
前記第１のパネル（１０６）上で軸荷重を受容すること、及び  
前記軸荷重を前記航空機の胴体（１０１）に配向すること  
を含む、請求項１から１０のいずれか一項に記載の装置を使用する方法。